

2025年度

学校名 横浜市立青木小学校

対象学年 6年4組

① 学習指導案

プログラム	No. 10 「校歌の風景を見つめてみよう」
単元名 (全70時間)	青木 GREEN GARDEN ～夢の屋上計画2025～
学習のねらい	屋上での活動や夢の屋上計画など屋上庭園をよりよくする様々な活動を通して、屋上庭園がある青木小のよさや屋上庭園が環境にも影響を与える素晴らしい場所であることに気づき、関わってくださった方々の思いや地域の方との関りから青木のまちへの愛着を深め、これから屋上を活用する「未来の誰か」のために、景観のよさをいかした屋上庭園作りに取り組もうとすることができる。
学習内容	1 屋上庭園で何ができるか考える。 2 屋上での活動を通して屋上の良さを考える。 3 『夢の屋上計画2025』夢の計画を立て、庭造りを行う。 4 パンフレットを作り新しくなった屋上庭園を地域や学校全体に伝える。
参考資料 準備品 実施場所等	学校 屋上設計図 ・青木小150周年記念誌 iPad 教室 屋上庭園 等

学習の流れ

<p>『青木 GREEN GARDEN』 ～夢の屋上計画 2025～</p> <p>第6学年4組 29名</p>
--

1 子どもの実態

本学級の児童は、これまで青木の時間の中で「ものづくり」を中心とした様々な活動を行い、地域の人たちと関わってきた経験がある。今年は、最高学年として、まちや学校への貢献につながる活動をしていきたいという思いを抱きながら活動を進めてきた。子どもたちは学校生活の様々な場面で、地域の方々に支えられていることや、地域の活動に積極的に参加した経験から地域の方の優しさやまちのよさを実感しているように感じられる。

青木の時間には、活動のよさや充実感を感じながら意欲的に取り組む姿が見られる。意欲的に活動を進めながら、活動の充実感を得られると共に自分自身にも自信をもつことができるように、まちの先生と関わり、その中で学ぶ体験を多く重ねたい。またそこから生まれたアイデアや夢を表現できる力を身につけて成長してほしいと思っている。

2 材について

青木小学校の屋上庭園は、横浜市の他の学校にはあまり見られない学校の特色の一つである。都会の真ん中にある学校にそのような場所があるということは、貴重なことだと考えている。

屋上庭園は、開放感や美しい景色を楽しむことができ、緑が多く鳥や虫が集まる都会のオアシスになっている。他にも園には主に、建物の断熱効果を高め、夏や涼しく、冬は暖かく過ごせるような省エネ効果、土地の有効活動、環境への貢献として、二酸化炭素の吸収・ヒートアイランド現象の緩和・生物多様性の保全への貢献など、環境問題や SDGS につながるメリットが挙げられる。

鳥や虫が、まちの中の公園の緑や神社の森、そして青木小の屋上庭園を經由して移動していく姿を想像すると、屋上の緑と横浜の他の公園の緑には生物の多様性を通して重要なつながりがあるということに気づき、青木小の屋上が地域の大事な一部であることを実感できる。

しかし、屋上庭園は管理や維持が難しい。鳥や風が運んでくる植物の種子により、設計当初に植樹されていた植物以外が次々に生え、また、一年とたたないうちに雑草は多い茂り、立ち入ることができなくなってしまった場所もある。夏の暑さから、枯れ果ててしまう植物も年々増えている。

本単元では、年度当初のガーデニング活動をきっかけに、自分たちで屋上庭園をよりよい場所に改修し、その魅力を多くの人に伝え、みんなが行きたくなるような場所を作ることを目的とした。

今回の取り組みでは、屋上の見晴らし「景観」という視点から、青木小の校歌の歌詞と関連させて、校歌の歌詞にある風景を未来に残していこうという取り組みや、SDGS の視点から粘り強く解決していこうとする意識を大事にしながら、多岐にわたる視点で活動を広げていきたい。植物の専門家、学校的设计士、造園の専門家等各方面のプロフェッショナルな方々と関わりながら、青木の時間の中で、生き方を学んでいくことも大きな狙いである。

3 単元のねらい

屋上での活動や夢の屋上計画など屋上庭園をよりよくする様々な活動を通して、屋上庭園がある青木小のよさや屋上庭園が環境にも影響を与える素晴らしい場所であることに気づき、関わってくださった方々の思いや地域の方との関りから青木のまちへの愛着を深め、これから屋上を活用する「未来の誰か」のために、よりよい屋上庭園作りに取り組もうとすることができる。

4 本単元で育てたい資質・能力

探究課題	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
<p>屋上庭園の取り組みと関わる人々や地域の思い</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資料やインタビューなどから屋上庭園の歴史や地域とのつながりについて気付いている。 ・試行錯誤しながら自分たちの企画を資料にまとめることができる。 ・屋上庭園に関わる方々の努力や工夫、考え方や生き方のよさに気付いている。 ・ボランティアの方の屋上庭園に対する思いを理解し大切にしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・屋上庭園をよいものにしていきたいという願いの実現に向けて、屋上庭園の現状から課題を見付け、解決の順序や方法等の見通しを立てている。 【課題の設定】 ・屋上庭園に関わる方や青木小の児童、そして地域の方々の思いを反映させた計画になるように、今まで学んだことや考えたことをもとに、資料、インタビューやアンケートなどで調査しながら情報を収集している。 【情報の収集】 ・屋上に関わってくださる方の思いや願い、そして仕事に取り組む姿勢から学んだことを生かして計画を立てる取り組みの中で、自分たちの案を多様な視点で捉えたり別の角度から検討したりして考えを広げている。 【整理・分析】 ・自分の発見や考え、作ったものについて、分かりやすく資料にまとめたり実物を見せたりしながら、効果的に伝わる方法を選択して表現する。 【まとめ・表現】 	<ul style="list-style-type: none"> ・屋上庭園の魅力が分かり、自分たちが未来につながる屋上の一部を作り上げるという活動に取り組むことで、まちに緑を増やしていくということで地域をよりよくしていきたいという願いの実現に向けて、粘り強く取り組んでいる。 ・調査や企画書作り、イベントの実現に向けた活動に取り組む中で、屋上庭園のこの活動に関わってくださる方々や地域の人、専門家等多様な人に自ら進んで関わろうとしている。 ・プレゼンテーションなど、経験の少ないことにも進んで挑戦して、自分たちの考えを形にしようとしている。 ・友達の考えや工夫のよさ、まちの先生方の姿から物事に取り組む姿勢などに気づき、自分の学習に活かし、他者とよりよい関係をつくろうとしている。

5 単元構想

単元のきっかけ

④

ガーデニングの時間の活動は楽しかった。虫がいたり、植物かたくさんあったり、土を触るのも楽しい時間だった。小学校の屋上に庭があるのは珍しいことと知った。自分たちの屋上庭園をもっとよくして地域や学校のために活動したいな。地球温暖化にも関われそうだよ。

屋上での活動から屋上の良さや課題をみつけよう

⑧

- 課題に思ったことや屋上庭園についての調査をする。
- 自分たちに何ができるのか考えるために様々な屋上庭園を見に行く。
- もっとよい庭園にするためになにができるのか考え話し合う。
- 屋上で植物を育てながら、屋上での活動を考えよう。

屋上の活動を計画し、グランドプランをつくろう

⑱

屋上は気持ちがいいし、緑も多いけれど、色合いが同じで地味だからもっとカラフルで花が咲くといいな。サカタのタネの S さんからたねダンゴを教えてもらってとてもいい経験をした。これから自分たちのガーデンにきれいな花が咲くと嬉しいな。毎日草取りや水やりをしながら育てたいし、秘密基地に足を踏み入れられるようにしたいなあ。

- 屋上を作ってくださった設計士の方から話をお聞きする。
- クラスで見合い、改善点を話し合っって計画や予算案を立てる。
- 全体構想図を作り、そこから今年取り組む場所を決める。

『夢の屋上計画』グランドプランをもとに、秘密基地づくりをしよう

⑳

屋上は劣化している場所が多く、自分たちの力ではできないところも多いけれど、今まで足を踏み入れられなかった秘密基地だけでもなんとかリラックスできる場所にすることを活動のゴールにしたい。今後も草だらけにならないような工夫を考えないとまた同じような場所になってしまう。ずっと居心地の良い場所にしていきたいな。

- 秘密基地の整備をし、通り道を作り他の植物を植える準備をする。
- ふれあい祭りで屋上の花を使いながら屋上の PR を地域にしたり、秘密基地に植える植物を購入したりする商品を作る。
- 青木小のみんなや地域の人々の願いも取り入れられるよう情報を集める。
- 地域の人たちを屋上に招待するイベントの計画を立てる。

活動を振り返ろう

㉓

設計士の先生や、造園の先生、そして植物の先生からのアドバイスと多くの人の思いを込めて、自分たちの屋上計画に取り込みながら屋上の構想計画を作ることが出来た。今度は、未来に残す、活用してもらえる屋上にするために秘密基地作りをしよう。かかわってくださる先生方は、本当にたくさんのことを教えてくださったり、支えてくださったりする。こうして支えていただきながら自分たちの思いが形になっていくんだ。







- 屋上庭園を改善して一緒に関わってくださった方の思いや取組について、学んだことを振り返る。
- 1年間の学びを振り返り、自分の成長を捉える。

屋上の草だらけで入ることすらできなかった場所を、たくさんの方に支えていただきながらも自分たちで考えながら魅力的な場所に変えることが出来た。未来の青木小の子どもたちが、活用してくれたりリラックスしてくれたりしたらうれしい。今後も夢の屋上計画が続いていくといいな。青木の屋上庭園がまちの緑の一部として、生き物たちが喜ぶ場所になっていたらうれしい。まちの先生方から学んだことを今後の学びにいかしていきたい。卒業後も屋上活動に関わっていきたい。

② 事業実施報告書詳細

学校名 横浜市立青木小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
12	教室 屋上	<p>○屋上で活動しながら屋上の良さや課題を見つける。</p> <p>○植物の専門家のアドバイスを受け、屋上でたねダンゴを育てながら今後の屋上での活動を考える。</p> <p>○風景を意識した他教科の取り組みから、写真コンテストに応募するための写真を撮り始める。</p>	 	<p>自分たちの興味関心をもとに自分たちが身につけた力を明確にし、それにあった材として屋上庭園での活動を選択し、意欲的に楽しみながらと取り組む姿が見られた。</p>
18	屋上 教室 地域	<p>○ふれあい祭りで自分たちの活動や屋上庭園のよさを広める。</p> <p>○青木小の設計をしてくださった設計士の方からの話を受けて屋上庭園の全体計画を立てる。</p> <p>○青木フェスティバルで青木小の児童や地域の方の声を集めて夢の屋上計画に取り入れる。</p>	  <p>6-4 タネだんご整理券 【時間】11:00~11:30</p> 	<p>自分たちが育てたたねダンゴを活用して地域にワークショップを行ったり、押し花にしてアロマサシェ販売をすることで、活動の中で自分たちの活動を語ることができ、その反応から活動に自信をもち、最後まで取り組んでいきたいと気持ちを高めていた。</p> <p>屋上庭園の設計当時のコンセプトを知り、改めて自分たちの必要なことを考えたり、設計の専門的な話の中から屋上に植える植物の重さを考えたり、試行錯誤しながら計画を立てる姿が見られた。</p> <p>学校という場所が公共施設の一つであるという意識を設計士の方から学び、自分たちの意見だけで屋上計画を作るのではなく、全校児童や保護者、地域の方の声を集めて計画を作ろうと</p>

		<p>○設計士の方や造園業の方に自分たちの夢をプレゼンする。</p>		<p>アンケート収集の仕方を工夫して、多くの方の意見をあつめ分析する姿が見られた。</p> <p>考えた屋上計画は実際に作ることができるのか、設計士の先生と造園のプロの方にプレゼンしたことに丁寧な回答いただけただけなことから夢を現実できる喜びを実感し、まちの先生方への感謝をもち、次の行動力につながっていた。</p>
<p>37</p>	<p>屋上教室</p>	<p>○秘密基地の整備をする。</p> <p>○造園業のプロの方からの話を受けて秘密基地の屋上計画を立てる。</p> <p>○造園業の方と一緒に植物をどの位置に植えるのか決める。</p> <p>○秘密基地のベンチを職人さんの御指導のもと塗り替える。</p> <p>○造園業の方と一緒にわくわくいっぱい秘密基地を作る。</p> <p>○自分たちの活動をまとめたパンフレットを作る。</p> <p>○屋上お披露目会をする。</p>	    	<p>足も踏み入れられなかったような草むらをなんとかしようと、試行錯誤を繰り返しながら主体的に行動する姿や友達と協力して取り組む姿が見られた。</p> <p>夢を現実にする方法を学びそれぞれが自分の思いを込めて絵に表現し、それを何度も話し合いながら屋上計画を立てる話し合いでは全員が考えを伝え合い、様々な事柄を決めて進めていくことができていた。</p> <p>設計士の方の紹介で学校を施工した工務店さんやペンキ塗りの職人さんのサポートの元、ペンキの色を決める話し合いを重ね、自分たちの手で作る喜びを感じている子どもが多かった。</p> <p>自分たちの作った屋上の活動を未来に繋げていきたいという思いをかなえる方法をいろいろ考えたり、計画を立てたりして、実行す</p>

				<p>る際にたくさん自分たちの活動を価値づけてもらえる言葉を多くの先生や地域の方からいただいたことで改めて自分たちの活動を最後までやり遂げた達成感を感じている児童が多かった。</p>
3		<p>○自分たちの活動を振り返り、まちの魅力や景観に対する気づきをまとめる。</p>		<p>この活動を通して屋上をより魅力的な場所にしていくことができたことや、仲間がいたから最後までやり抜くことができた、判断力や行動力が身についたと答えた児童が多数だった。また自分たちの活動を支えてくださった方々への感謝の気持ちをいただき、今後も青木小の屋上の景観を大事にしていきたいし活動を継続させたいという思いをもつ子もいた。</p>

③ 実施内容について

(1) 実施にあたり工夫した点

「景観」という言葉を常に意識し子ども主体の問題解決型の活動になるように、常時活動を含む学習の中のつぶやきや振り返りの中で生まれたた問いを大事にした。屋上は景観との関連が自然と生まれる場所であったことやキーワードである「校歌の歌詞」ともつなぎやすく、どの場面でどのようにつなげるかということについて単元構想を考える際に意識した。また他教科と総合的に関連付けながら取り組むことも工夫しました。そして、まちの先生に多く関わりながら活動にとりくむ際に時期や内容、そして本時で子どもに伝えていただきたいことなどを事前に何度も打ち合わせをし、活動の流れや意図がずれないようにしながら進めたことも工夫につながっているのではないかと思います。

(2) 実施にあたり苦労した点

今回は多くのプロの方に関わっていたため、授業前の打ち合わせが必要になったことや、また日程調整に苦労した。また、屋上の景観を地域に広めるために区の写真コンテストに全員参加した際に、データをまとめて区役所に送る等が自分にとっては得意分野ではないため時間がかかり苦労した。屋上という場所柄子どもたちが自由に行くことができず、施錠されたところであったため、休み時間や朝の時間の常時活動になかなか繋がれられないところも大変だった。また今年度の夏の暑さ問題も含め、児童の体調管理をしながら活動を考えるとところも少し大変だった。

(3) 児童の反応

子どもたちは屋上に行くことを常に楽しみながら主体的に取り組む姿が常に見られた。毎回自分たちで考えながら活動に取り組むため、次はここをこうしたい、という意識を持ちながら取り組んでいた。1年間通して活動したことによって、この活動を通して行動力がついた、自信に繋がられた、夢をかなえることができることが分かった、友達と協力するといろいろなことができることが分かった、等多くの前向きな反応がふりかえりの中に見られた。また、自分たちの活動が未来につながるよう全校児童に呼びかけ、作成したパンフレットを自分たちで全クラス、全職員に届けたり、全校児童に屋上庭園お披露目会をした際の多くの反応から、自分たちの活動が認められたことを実感し、やってよかったと実感していた。

(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

今回の取り組みに参加する前は、活動を進めるにあたって様々な制限を感じたりどのように子どもたちに大事なことを意識させていくか悩んだりすることが多かったが、今回景観というキーワードを自分自身が常に意識して取り組むことができたことで、しっかりと最後まで取り組むことができたと考えている。「校歌の風景を見つめてみよう」というテーマも子どもにとって取り組みやすく、今回の実施を通して自分が今後も指導をする際に大事にすべきことを理解することができたことが大きな成果である。また、本学級の取り組みは全校児童や地域の皆様へのパンフレット配布を通して広まっており、本校の児童の未来の学習への参加の意欲や、地域の中での大事な風景としての認識など、広範囲にわたって意欲を高めることができたのではないかと思います。

(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕

単元の流れをできるだけ早めに計画し見通しを持って意図的に構想していかないと、活動時間や時期を十分に確保できず、子どもたちが十分に試行錯誤することができなくなってしまいうため、年間を通しての見通しを早めに立てることが課題であると感じた。また、総合的な学習の時間での取り組みの場合、まちの先生にどの時期にどの内容で関わっていただくか、外部の方との連絡にも時間がかかるため、こちらも計画的に取り組んでいくことが必要である。